



ユーズド・マイバッハ How Much?



マイバッハ62のリアシート。左手に「液晶調光・電動ガラスパーティション」、上方に「液晶調光パノラミックフルガラスルーフ」が見える。ともにスイッチひとつでクリアガラスになる。

「メルセデス・ベンツ品川」が、マイバッハ(とSLRマクラーレン)の販売代理店になったことは6月号でお伝えした。これにより、正規ディーラー扱いのマイバッハ中古車がようやく購入できるようになったわけだ。7月初旬の取材時点で2台あった在庫車両をさっそく見せてもらった。それぞれ価格は下記の通り。参考までに新車価格を記しておくと、標準ボディの「マイバッハ57」が4441万5000円～、ロングボディの「62」が5145万円～である。やはりその差は小さくないようだ。

「マイバッハは99%シャッター付きのガレージ保管。ショーファードリブンなので運転が丁寧なうえ、メンテナンスも完璧です。よって中古車のコンディションは抜群といえます」

というのは同店PLM(パーソナル・リエゾン・マネージャー)の數代宗之氏。つまりマイバッハは中古車こそ狙い目なのである。

さらにオプション装着品も考慮すれば、中古車の魅力がいっそう際立つ。ショーファーと主人を仕切る「液晶調光・電動ガラスパーティション」=409万5000円、「液晶調光パノラミックフルガラスルーフ」=202万6500円を筆頭に、その価格も桁違いなのだ。

すでにロールス・ロイス・ファントムあたりをお持ちの方、ここはひとつ、スベアカーとして1台いかがでしょう。新車はともかく中古車なら、かようにお手軽でもありますし。マイバッハの中古車は、考えようによっては「お試し価格」なのですから。

Text: 加納亨介/Photo: 松本高好

メルセデスが威信をかけて開発したショーファードリブン、マイバッハ。日本発売は2003年の8月のことだったから、すでに4年が経過したことになる。当然、中古車も生まれるわけで、興味深いのはなんといってもその価格。「高価なクルマは値落ちも大きい」という業界の常識は、マイバッハにも通じるのだろうか？



MAYBACH 62

3,685万円

左ページの写真はこのクルマ。インテリアカラーは「ラブラドルアンズラサイト」+「ウォールナット」。ボディカラーは「ランザローテクロームフレア」。光の角度によって微妙に色合いが変化する。走行距離は1.8万kmで、數代氏いわく「ようやくアタリがついてきたあたり」。



PLMの數代宗之氏。正式な研修プログラムを修了しており、マイバッハ(とSLRマクラーレン)のすべてに精通する。同時に、真に惚れ込んでいるひとりでもある。問い合わせ:メルセデス・ベンツ品川 Tel.03-5479-1700



MAYBACH 62

4,500万円

走行距離2500kmの「ほぼ新車」物件。例の格子天井こそ備わらないものの液晶調光パーティションは付いており、同仕様の新車より1000万円ほど安上がり。かつ即納。新車は平均8ヵ月待ちだ。3685万円号と同じ内外装色だが、こちらのウッドは「アンボイナウッド」。

